

市民の健康と体力づくりをサポート スポーツ推進委員

スポーツ推進委員は、スポーツを推進するための事業の実施や連絡調整、住民に対するスポーツの実技指導、指導、助言などを行います。旭市では30人のスポーツ推進委員が委嘱され、地域のレクリエーション・スポーツ活動を推進し、市や教育委員会の主催する各種スポーツ大会の企画、運営を行っています。

旭市スポーツ推進委員を紹介します

会長 知念清壽(干潟(旧旭)地区)

副会長 片桐文夫(飯岡地区)、菱木芳雄(豊畑地区)
宮内良子(琴田地区)

中央地区/成毛勝雄、加藤典晃、小島美千代

琴田地区/深井俊行

矢指地区/飯笹勉、加瀬千歳

富浦地区/大橋誠治、鶴澤葉子

共和地区/向後信子、石毛仁

豊畑地区/山崎喜一郎、椎名玲子

干潟(旧旭)地区/林恒子

海上地区/浪川勝子、江畑理恵、遠藤俊彦、

大久保昌浩、越川哲哉

飯岡地区/金山理宏、梅原清活、林宏、野口稔

干潟地区/衣鳩直喜、小澤昌志、大极晋一、宮野秀平

※敬称略



①市民スポーツのつどい(6月) ②健康体力づくりフェスティバル(11月) ③市民体育祭(10月) ④市民駅伝大会(12月) ⑤旭市飯岡しおさいマラソン大会(2月)

あさひ輝いた人々 第10回

旭町発展の功労者 旭町の三翁

飯田 佐次兵衛 (1845~1920年)

西村 甚右衛門 (1847~1926年)

飯塚 六兵衛 (1852~1923年)

飯田佐次兵衛(恭翁)、西村甚右衛門(五龍)、飯塚六兵衛は旭町の三翁と呼ばれ、旭に鉄道を通すことに力を注ぎ、市街地の整備、大正道路の建設、多額の寄付など、旭町発展のために協力して事業に取り組みました。

飯田佐次兵衛は弘化2(1845)年に生まれました。醤油業(ちば醤油)を営み、明治27(1894)年千葉県議会議員となりました。旭へ総武鉄道の誘致を行い実現させました。六兵衛と共に旭から萬歳に向かう大正道路の建設に力を尽くし、当時としては素晴らしい道を作り上げました。明治25(1892)年、板垣退助が旭町にやって来た時に佐次兵衛宅に宿泊し、大正7(1918)年渋沢栄一が旭で講演会を開いた時には、渋沢の休憩場所になりました。大正9

(1920)年に亡くなりました。

西村甚右衛門は弘化4(1847)年に生まれました。西村家は代々呉服商を営み、醤油業も兼業していました。明治12(1879)年千葉県議会議員になり、その後衆議院議員も務めました。土地開発にも力を入れ、道路の区画整理を行いました。市内の碁盤目になっている道路は、甚右衛門のおかげだといわれています。大正15(1926)年に亡くなりました。

飯塚六兵衛は嘉永5(1852)年に生まれました。子どものころ、奉公に出て商人の大変さを体験した後、家業の乾物商を継ぎ、家業を発展させました。公共的な慈善のために自らお金を寄付し、旭町の水害や火災の時にはたくさんの援助を行いました。また宅地の一部を旭町に寄付しました。大正12(1923)年に亡くなりました。

3人の功績を後世に伝えるため、西宮神社に碑が建てられています。



三翁の碑